

## 事業所における自己評価結果（公表）

公表：平成 30年 7月 20日

事業所名 引野ひまわり学園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等のスペースとの関係で適切である	○		整理整頓を心がけている	保護者の中には狭いと感じておられる方がいるため、整理整頓などに留意していく
	②	職員の配置数は適切である	○		4対1以上の配置をしている	職員の定着率について心配されている保護者の方がいるため、定着率を向上させていく
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		建物が古く、バリアフリーとまではいっていない 椅子の配置やテーブルの配置は工夫している	建物の古さ等を指摘する保護者の方が複数おられるため、今後とも物理的な配置の工夫など行っていくが、建物自体は難しい
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		毎日時間を設定し掃除を行っている	建物が古く限界があるが、出来るところは工夫していく
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			施設全体の業務改善に関して、職員に周知するものの職員の参画までいたっていないため、今後の検討課題である
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		これまで保護者アンケートを年度末に実施し意見を吸い上げていた	評価表については、29年度末に初めて実施したため、その結果を30年度に生かしたい
	⑦	事業所向けの自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所としての自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の開放やホームページ等で公開している	○		アンケート結果については、保護者に開示していた	29年度に評価表が出来たため、これからであるが、29年度の結果については30年度にホームページ上で公開予定である
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		外部評価は実施しておらず、今後の検討課題である
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		外部研修、内部研修を実施している	新人職員に対する内部研修の充実を図る必要がある
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		面接等で保護者のニーズを把握し支援計画を立てている	今後とも保護者からの情報やニーズを把握し、よりよい支援計画に反映させていく
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		ポーターや遠城寺検査などを使って支援計画を立てている	今後とも客観的なアセスメントを行いよりよい支援計画を立てていく

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		個別支援プログラム(児童発達支援計画)に網羅している	児童発達支援計画ガイドラインに沿った、個々の支援計画を立てる
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		4か月に1度見直しを行っている	今後とも継続していく
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		クラス職員で話し合っ立案している	今後とも継続していく
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		日々の活動が偏らないよう工夫している	今後とも継続していく
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		毎日ではないが個別活動を実施している	今後とも継続していく
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		登園前の時間を利用して行っている	今後とも継続していく
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		降園後の時間を利用して、園児の情報交換や支援方法の検討など行っている	今後とも継続していく
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日々の記録をとっており、支援に役立てている	今後とも継続していくとともに必要であれば改定していく
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		懇談を年3回行っておりその際支援計画の見直しを行っている	ガイドラインに沿って、懇談をモニタリングとし、今までどおり年3回実施する
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		必要に応じて相談支援事業所職員と情報交換を行っている	今後とも必要に応じて参画していく
㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		○		必要に応じて行いたい、今のところ該当児がいない	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	㉑	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		今年度は対象児はいなかった	幼稚園や保育所に移行するときは、引き継ぎを行い引き継ぎ書を渡している
	㉒	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		就学する際は、引き継ぎを行い引き継ぎ書を渡している	今後も就学等に際しては、支援内容を文書にして渡すとともに、引継ぎの会議を行う
	㉓	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		療育センターのPTやOT、心理士、STに定期的に来園してもらっている	今後も継続し、コメディカルスタッフからの助言等を受けていく
	㉔	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		定期的に保育所との交流保育を実施している	今後も定期的に交流保育を実施していく
	㉕	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○	地域に子ども・子育て会議や自立支援協議会の子ども部会がない	
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		日常の連絡ノートや電話連絡のほか、懇談を年3回実施している	これまで行ってきた懇談を「モニタリング」として継続する 連絡ノートや電話連絡も継続していく
	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		ペアレントトレーニングや保護者向け勉強会を実施している	今後も継続していく
	㉘	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		入園時等に説明を実施している	丁寧な説明を心がける 質問は随時受け付けていく

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている		○	児童発達支援ガイドラインは29年度に作成されたため、それに沿った計画案の作成に向けて書式等の整備を行った	これまで個別支援計画として作成してきたが、「児童発達支援ガイドライン」に基づいた計画案の立案や支援内容を展開するとともに、保護者に説明を行っていく
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		学期に一度懇談の機会を設け、必要に応じて、助言や支援を行っている	今後も継続していく
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		父母の会の役員と随時情報交換を行ったり、保護者向け勉強会の支援を行っている	今後も父母の会の活動を支援していく
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		毎日連絡帳等で情報交換をしている 相談があった場合には対応している	迅速に対応できなかったり、相談に十分対応できていない場合があるため、今後も迅速に対応できるよう努力をしていく
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		行事予定は年度当初とその都度知らせている 活動の内容に関しては、HPで知らせるとともに園内に掲示している	HPは毎月更新するとともに、HPの内容を保護者に周知できるように掲示についても継続していく
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	○		終業時にはファイルチェックや施錠等を行っている	保護者アンケートで「いいえ」と回答した保護者の方がおられたため、今後より一層取り扱いに留意していく
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		視覚的、聴覚的両方の伝達方法をとっている	今後とも障害のある方に関しては、情報伝達等の配慮を行っていく
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		地域の方に協力を依頼し伝承遊びを行っている	今後も地域との連携を行う

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		各種マニュアルを作成し職員に周知している 毎月避難訓練等を実施している	マニュアルの周知は職員に行っているが、保護者には行っていないため、今後の検討課題である
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		地震・竜巻訓練をしている	今後も継続していく 災害訓練の見直しも行っていく
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		通園開始前の面接のときに情報を入手するようにしている	今後も継続していく
	④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		通園開始前に入手し対応している	今後も継続していく
	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハットがあった場合、朝礼で共有するようにしている 書面で残している	今後とも書面で残したり、共有するようにしていく
	④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待防止のための職員向けチェックリストを作成している	虐待防止の研修を毎年実施していないため今後の検討課題とする
	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		やむを得ず身体拘束を行う場合は、予め保護者の同意を得るようにしている	身体拘束について、保護者の同意は得ているが、組織的に決定するまでには至っていないため、今後の検討課題とする

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。